

中国の秋

ここ最近の中国は朝、昼、夜、と気温の差が激しく、秋だと感じる日々を感じています。10 月とは違い、11 月は雨が少なく晴ればれとした日々が続き、サイクリングが好きな私にとっては過ごしやすい季節となっています。紅葉も観られるようになり日本でも見頃を迎えている頃かと思う次第です。

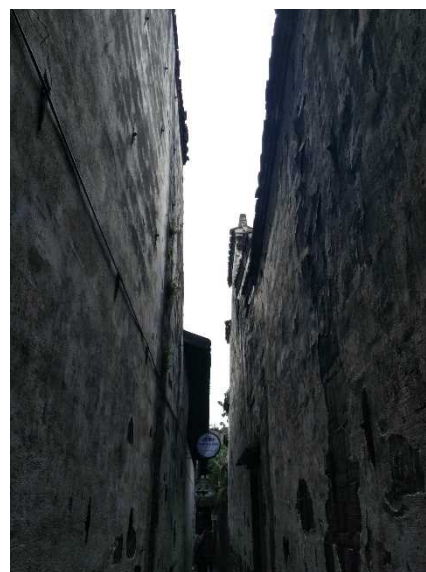
乌镇(ウーヂェン)と西塘(シータン)

ここ浙江省は、水郷の街がとても多く点在する土地でもあります。その中でも今回は乌镇と西塘に行ってきました。

まず、乌镇は西柵と東柵と見どころが2つに分かれています。私は友人2人と観光に行きました。私たちは時間の関係で乌镇では西柵のみの観光でしたが、水郷の町というだけあって至る場所に水路があり 1 日だけでしたがとても楽しめました。建物は私が想像していた中国の建物の雰囲気があり観たかった中国の景色がありました。夜に船から観る夜景が綺麗だという事前情報を聞いていたので、明るいうちにしか観ることのできない場所を優先して回りました。2006 年に観光地として整えられた最近の観光地ではありましたが、趣がある場所になっており、博物館のような場所も多々あり、街の景色を楽しむのだけではなく知識として色々知ることができました。そして、夜になり船に乗り夜景を楽しみました。事前に聞いていた情報とおりととても美しい景色が広がっていました。水面に反射した光がより一層街を彩りさらに美しく飾っていました。



そして、次にまた同じく水郷の街西塘です。同じ水郷の街でも雰囲気が違うものだと感じました。こちらは屋根が多く、通行人に気を遣った造りになっていました。道が狭く造っており、こちらでもまた違った昔の中国の雰囲気を味わえる場所だと感じました。瓦の屋根など見るとやはり懐かしく感じる気持ちもありますが、街自体の雰囲気が違い懐かしく感じながらも新しいものを見ているんだという感覚がありました。



来月は、浙江大学の日中友好交流会の催しと浙江大学内で行われる中国人学生の日本語スピーチコンテストの司会を頼まれているので、旅行以外の活動を報告できればと思っています。

浙江省友好交流員
加治屋 樹